

飛騨市長に就任して 一年を振り返る

就任から一年を迎えた都竹市長。様々な施策を精力的に進める市長に、就任から一年の振り返りを語っていただきました。



「昨年の三月に市長に就任されました。この一年を振り返ると？」

充実した仕事をさせてもらっています。飛騨市の潜在力や可能性を感じることが多く、すこいまちだと改めて感動しています。それをどのようにして皆さんの自信や誇りにしてもらおうかということを現場に出て、考えて、取り組んできた一年でした。

「この一年で心に残っていることは何ですか？」

あまりにも印象的なことが多いので、選ぶのは難しいですが、やはり「三つのチャンス」、つまり、梶田隆章先生がノーベル賞を受賞されたスーパースターカンデ等の宇宙物理学研究、「君の名は。」の大ヒット、古川祭のユネスコ登録は外せないですね。

「市長として飛騨市を見つめ直すところでしたか？」

どこに行っても面白いことの連続、新しい発見の連続で



▲移動販売車

した。予想をはるかに超える発展の芽があり、勇気づけられています。例えば、鮎釣りの室田正名人の移住では飛騨市の鮎の可能性を実感しましたし、古川町高野のスキー場跡で地元の方々が400本もの山桜を植えておられることは、飛騨の名所になる可能性を感じました。若い方々の活動でも、神岡のクライミングジムや買い物支援の取り組みには感動しました。まちづくりにそのものと言える活動を自然体で行う方が多く、市民の皆さんのパワーに感服しています。

「市長は「現場主義」といってとで、よく現場に足を運んでいますか？」

色々な所に出かけて、自分の目で見て、お話を聞かないと気が済まない性格なんです。現場に行くと初めてわかること、現場の方々に教えられることはとても多いです。現場の情報量のすごさを改めて感じています。トマトやほうれん草農家、製造業の工場、森林施業の現場などが印象的でした。現場へ行くと、市が何をすればいいのかわかりますし、新たな施策のアイデアも浮かびます。



▲小学生との企業訪問

「情報発信といえば、市長は毎日Facebook（フェイスブック）を更新していますか？」

Facebookでの毎日の情報発信は市長になる前から続けていますが、市長になつてからは毎日の出来事や考えたこと

などをかなり詳しく書いています。就寝前に更新することが多いですね。市長ってこういうことやっているのか、飛騨市ってこういうことやっているのか、ということが直接に伝わっていると実感します。



▲移動市長室

「平成29年度予算が発表されましたが、どのような思いがありますか？」

現場に出て自分の目で見て、移動市長室などを通して皆さんの意見を伺い、考えたこと、議会で議論したことなどを力タチにした予算です。政策の議論もかなり丁寧にやり、将来の財政運営も考えながら、自分としては精魂込めて作ったと思います。

「市長が掲げる『元気・あんき・誇り』はどの反映されましたか？」

一番重点にしたのは「あんきな飛騨市づくり」です。障がい児者支援や介護人材の確保、医療体制の確保などに、真正面から取り組みました。この分野は、地方自治体の「本務」。飛騨市が全国トップだと言われるようになるくらいにしていきたいです。

「元気」では、先ほど申し上げた三つのチャンスを生かすことをはじめ、観光誘客につながる魅力づくりを、「誇り」では古川祭や山城群など歴史・文化の掘り起こしを行い、活用していくことを特に重点にしたつもりです。



▲宮川保育園の園児と記念撮影



▲木育イベント「もくチャレ」

「これまでは仕事に対する考え方や予算について話を伺いましたが、少し話題を変えて、市長就任から、「単身赴任」されていると伺っていますが、寂しくありませんか？」

よくみなさんに聞かれる質問です(笑)。長男が岐阜市の高校に進学した関係で、家族は引き続き岐阜市のアパート住まいで、私は古川町の実家で両親と暮らしています。岐阜や名古屋など出張が多いので、それに合わせて自宅へ立ち寄りたり、泊まったりしています。

「出張や会議など、休みがないほど忙しいのですが？」

これもよく皆さんに心配されるんです(笑)。市長という職は、決められた勤務時間や休みがないのでやりくりが必要ですが、自分でついで日程を入れてしまい、過密になって自分の首を絞めています(笑)。ただ、家が市役所に近いこともあって、結構遅起きで、睡眠時間はしっかり取っていますので、元気にやっています。どうぞご心配なく。

「ありがとうございます。普段はなかなか聞けないことも答えていただきました。」

「最後に市民へメッセージをお願いします。」

全国の多くの方々や他の市長さんなどから「飛騨市はいいところで、資源も多くて羨ましい」とよく言われます。実際にこんな可能性のある、面白いまちはないと思いますし、市民の皆さんにも、自分のふるさとに大いに自信を持っていたきたいと思っています。

今後、現場に出て、皆さんと対話しながら、積極果敢に新たなことにチャレンジし、どんどん前進する飛騨市であるように努力を重ねていきます。ぜひ一緒にこの飛騨市を大いに盛り上げましょう。

